

2012年 第1回 私立大学図書館協会
阪神地区相互利用担当者連絡会議事要録

日時:2012年7月17日(火) 午後2時~4時
場所:太成学院大学 本館3階 M301教室
出席者:55館 66名

挨拶:太成学院大学 学長 足立 裕亮
司会:太成学院大学 図書館長 釣島 平三郎

議事に入る前に冊子資料の確認をした。

1. 連絡事項

- (1) 新規加盟校と脱退校について
新規加盟校 四條畷学園大学図書館が欠席されていたため
挨拶はなし、脱退校 神戸ファッション造形大学図書館とともに
紹介のみとした。
- (2) 2011年度 相互利用件数について
各大学より事前に送付された資料を集計し配付、確認した。
- (3) 不要雑誌リストの交換について
各大学より事前に送付されたリストを配付し、確認した。

2. 報告事項

分担保存雑誌購読中止について
神戸国際大学図書館から先に申請があった「大阪人」購読中止について
6月27日に行われた分担保存委員会にて承認された旨報告した。

3. 承合事項

今回はあいにく承合事項の問い合わせがなく、幹事校より
「分担保存誌の今後のあり方」についてA~Hの8グループに
分かれて討議するよう提案した。

縮小から廃止へはブルーの用紙に、存続すべきはピンク票に
学校名と理由を記入していただき、あらかじめ決めておいた
各グループの代表者にグループの討議内容を発表していただいた。
その結果は...

Aグループ 相互利用担当者では決められない。逐次刊行物担当でない...
5大学8名 ブルー票、ピンク票とも1枚もなし。
無投票 8

Bグループ 国立国会図書館に寄贈して国立国会図書館で
4大学8名 集中して保存してもらうなど、縮小に向けて見直しをしてはどうか。
ブルー票 6枚 現状利用がなければ、タイトルの見直しをしては
ピンク票 2枚 情報の保存という観点から続けた方が良い。

Cグループ 現状維持で良いのでは
7館 8名
ブルー票 4枚 其々の大学の事情に合わせていけばよいのでは。
ピンク票 4枚 現状特に分担保存誌が大きな負担にはなっていない。

Dグループ 4館 8名 ブルー票 7枚 ピンク票 1枚	廃止すべきではないか 書庫のスペースが活用できるようになる 利用率が低い。 廃止でよい。 保留
Eグループ 7館 8名 ブルー票 6枚 ピンク票 1枚 無投票 1	NDLやNACSISの所蔵調査で十分 見直しが必要、。本当に保存する必要があるのかどうか。 負担になっていなければ存続してもよいのでは。
Fグループ 7館 7名 ブルー票 7枚	廃止、続ける意味が見出せない 他館からの依頼もない。時代の変換により保存誌の意義が 失われつつあるのも確かである。
Gグループ 8館 8名 ブルー票 3枚 ピンク票 4枚	分担保存委員会で要項や現状に沿った条件の見直しを すべきではないか。 ILL利用や国会図書館も利用可能なので見直しを。 廃止とは言わないが要項の見直しを。
Hグループ 6館 6名 ブルー票 2枚 ピンク票 4枚	NACSIS登録の少ないもの、希少価値の高いもの、古いもの などにすべきではないか。 NACSIS-CATに登録のないもののみを集めたリストを作成しては。 利用実績がある限り存続すべきではないか。

合計	縮小から廃止へ (ブルー票)	36票 59%	存続すべき (ピンク票)	16票 26%
	無投票	9 15%		48館 61名

4. その他

帝塚山学院大学図書館狭山館・泉ヶ丘館よりの一般開放に
関するアンケート用紙が配付され、各自で回答を行った。

平成24年8月7日 作成
太成学院大学図書館 茂木